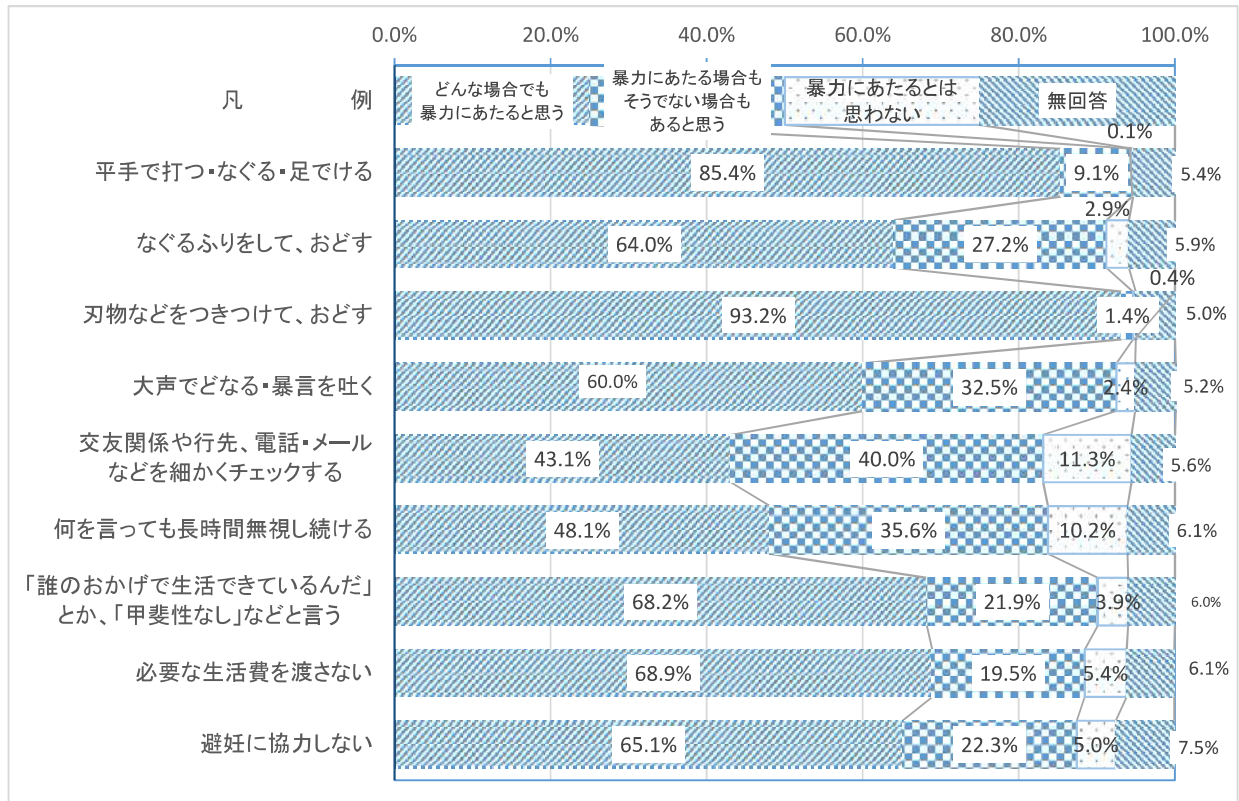


## 第4章 配偶者等からの暴力

### (1) DVに対する自認度

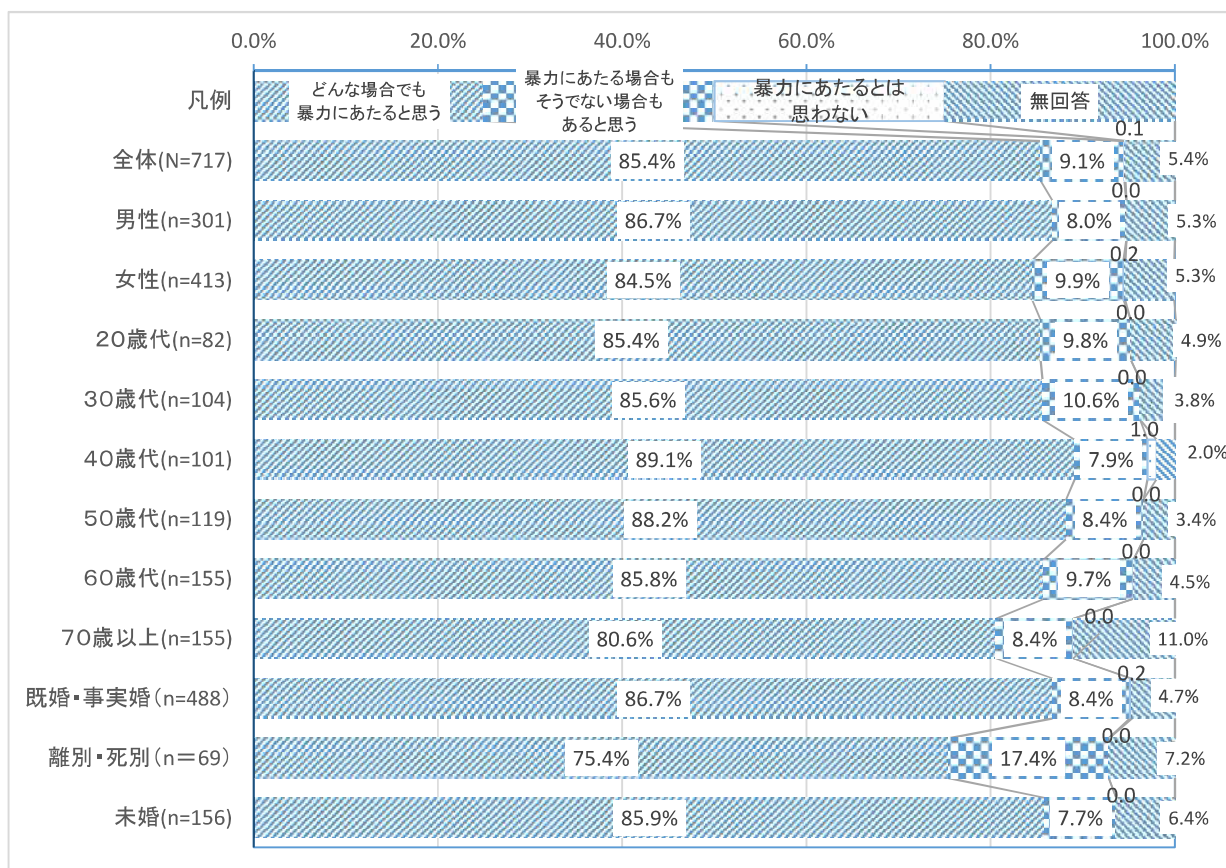
問18 次のようなことが夫婦や交際相手との間で行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。ア～ケのそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。



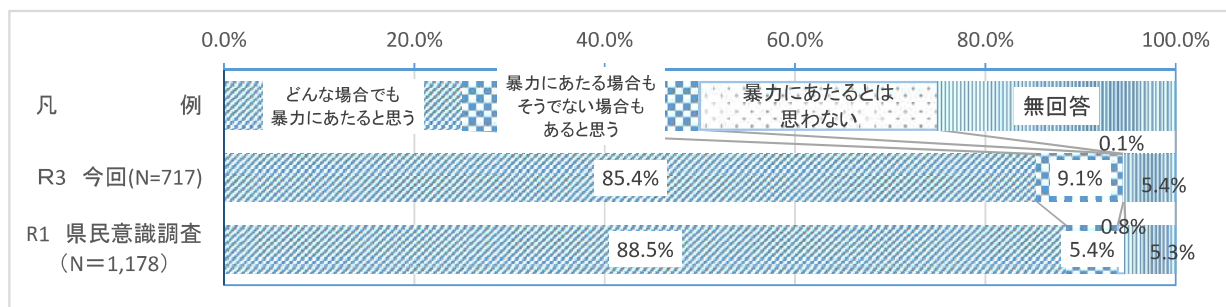
#### 【問18の総括】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「刃物などをつきつけて、おどす」が93.2%と最も高く、次いで「平手で打つ・なぐる・足でける」が85.4%、「必要な生活費を渡さない」が68.9%と続いている。
- 「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「交友関係や行先、電話・メールなどを細かくチェックする」が11.3%、「何を言っても長時間無視し続ける」が10.2%と、1割を超えている。

ア) 平手で打つ・なぐる・足でける



<他統計結果との比較>



【全体】

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 85.4%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 0.1%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「男性」で 86.7%となっており、「女性」の 84.5%を 2.2 ポイント上回っている。

<年代別>

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40歳代」が 89.1%と最も高くな

っており、「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「40歳代」が1.0%でそれ以外の年代は0.0%であった。

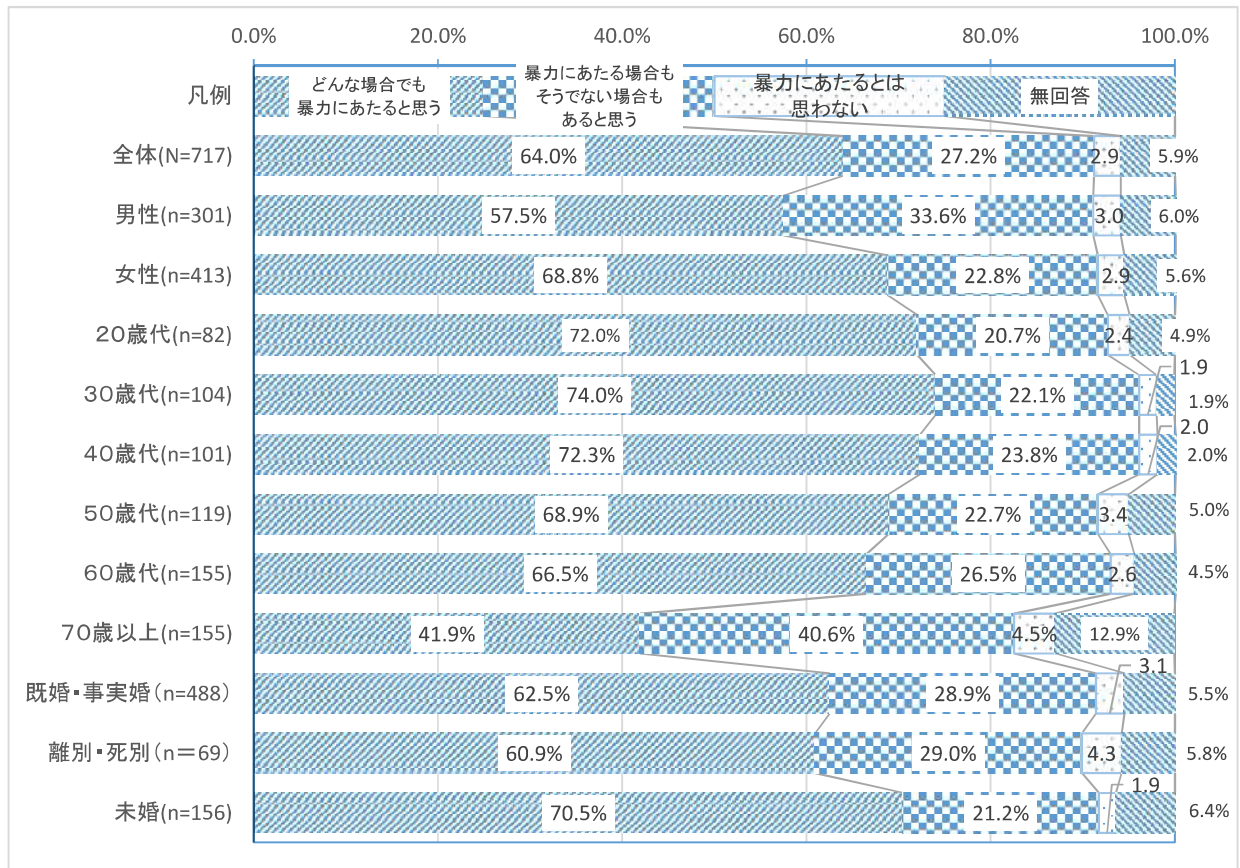
<結婚の有無>

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「既婚・事実婚」で86.7%となっており、「未婚」の85.9%を0.8ポイント上回っている。

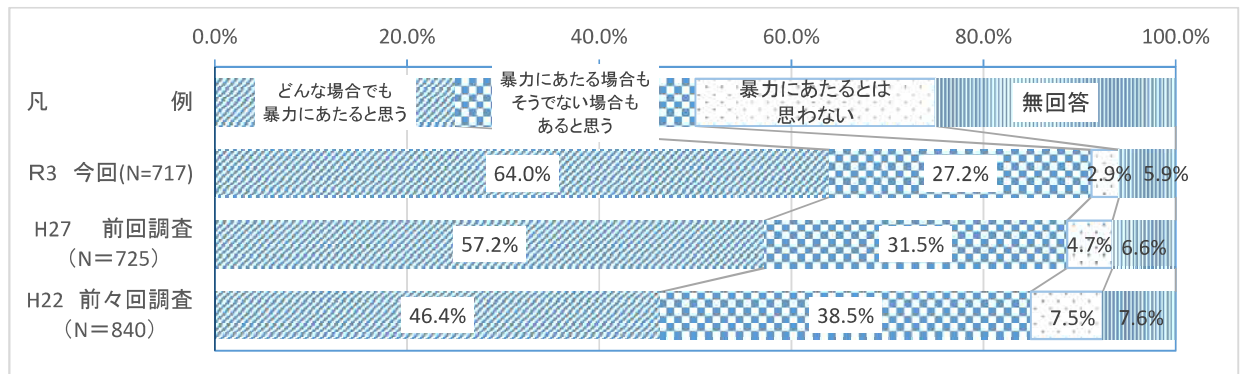
**【他統計結果との比較】**

○令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は県の88.5%を3.1ポイント下回っている。

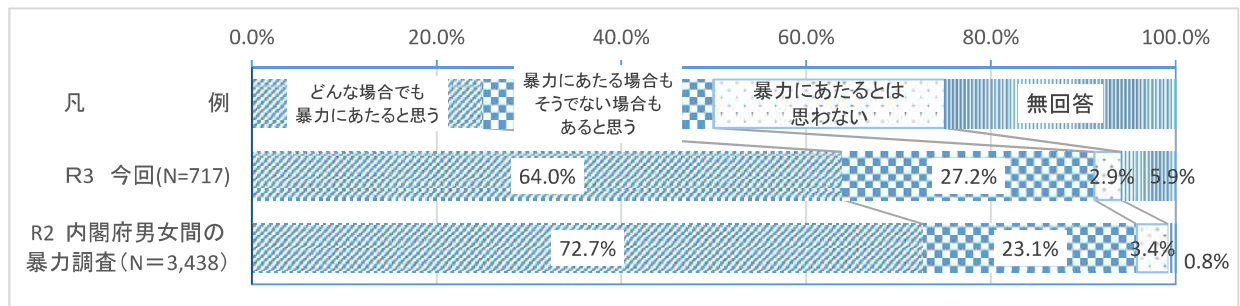
イ) なぐるふりをして、おどす



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が **64.0%**となっており、「暴力にあたるとは思わない」は **2.9%**となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で **68.8%**となっており、「男性」の **57.5%**を **11.3**ポイント上回っている。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「**30歳代**」が **74.0%**と最も高くなっており、**30歳代**以降年代が上がるにつれその割合は低くなっている。「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「**30歳代**」が **1.9%**で、最も低くなっている。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で **70.5%**となっており、「既婚・事実婚」の **62.5%**を **8.0**ポイント上回っている。

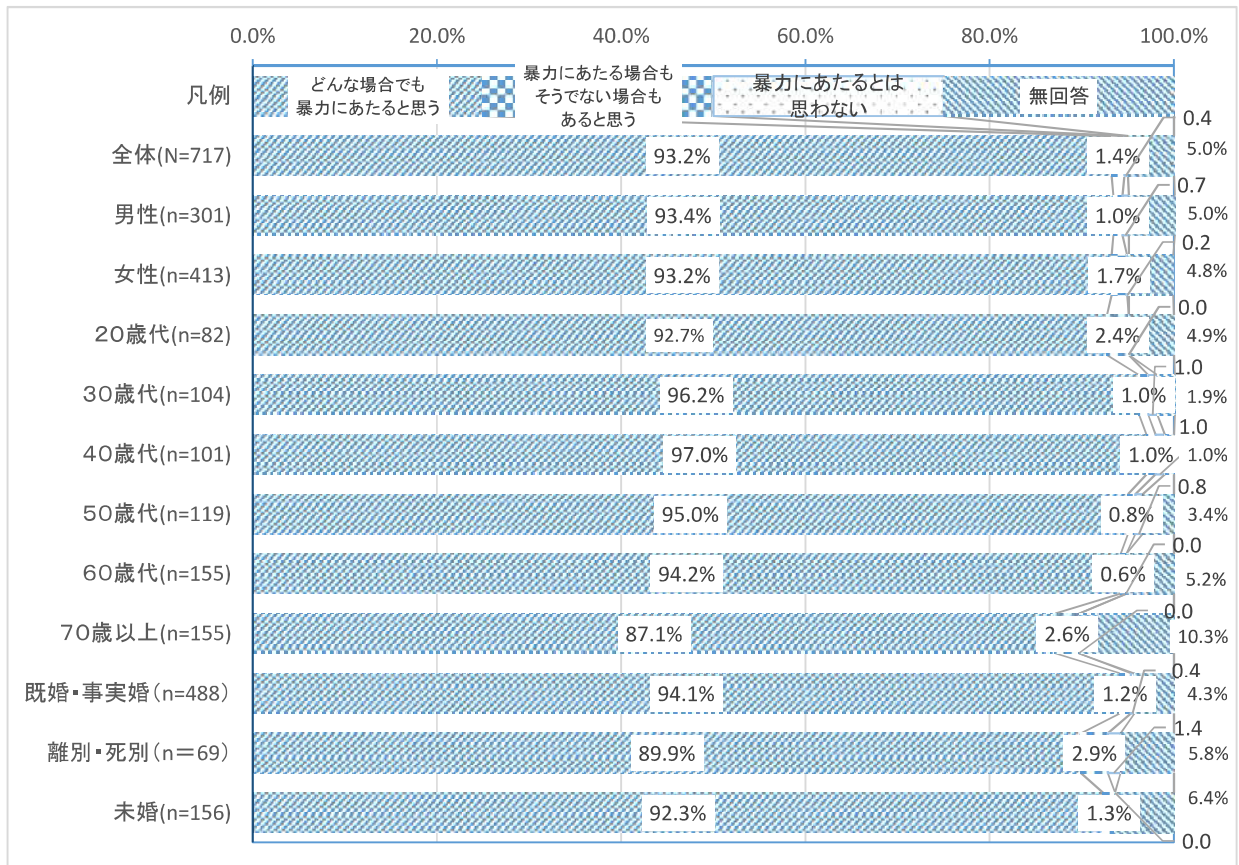
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 **6.8**ポイント増、前々回比 **17.6**ポイント増となっている。

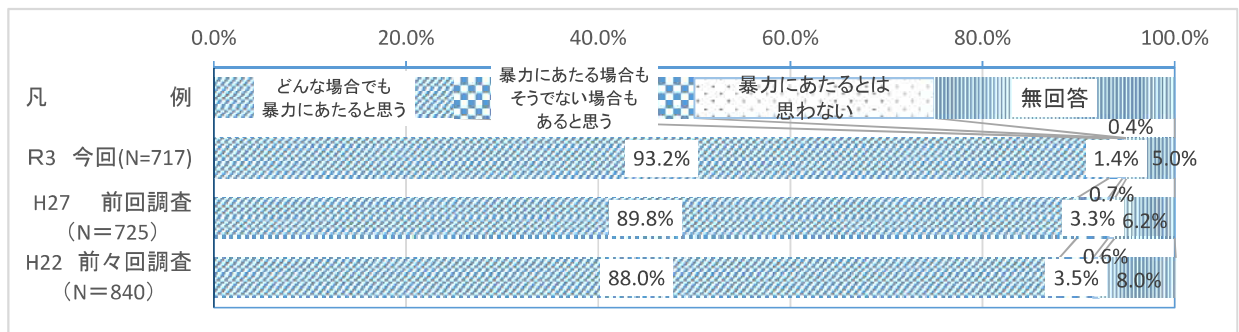
### 【他統計結果との比較】

- 調査法と調査票が異なるので単純比較はできないが、令和2年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国の **72.7%**を **8.7**ポイント下回っている。

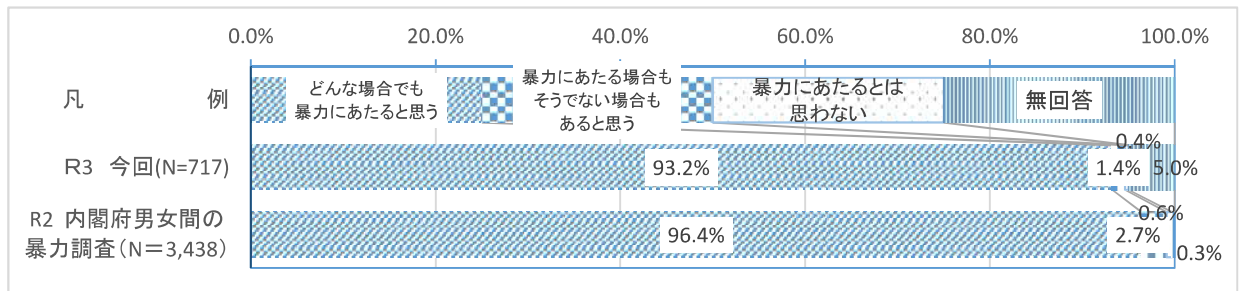
ウ) 刃物などをつきつけて、おどす



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が **93.2%**となっており、「暴力にあたるとは思わない」は **0.4%**となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「男性」で **93.4%**、「女性」で **93.2%**となっており、男女の違いは少ない。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「**40歳代**」が **97.0%**と最も高くなっており、**70歳以上**を除き全ての年代で9割を超えている。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「**既婚・事実婚**」で **94.1%**となっており、「**未婚**」の **92.3%**を **1.8**ポイント上回っている。

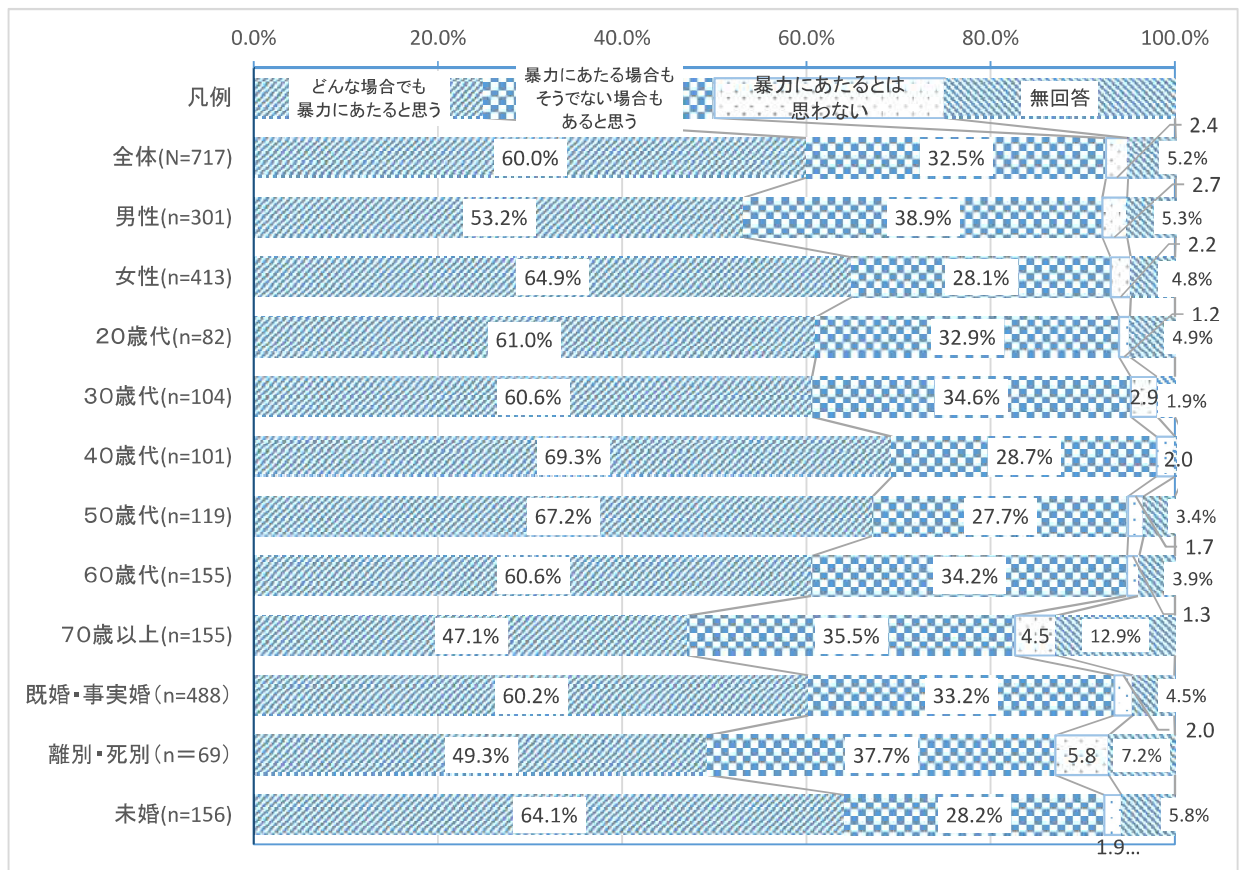
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 **3.4**ポイント増、前々回比 **5.2**ポイント増となっている。

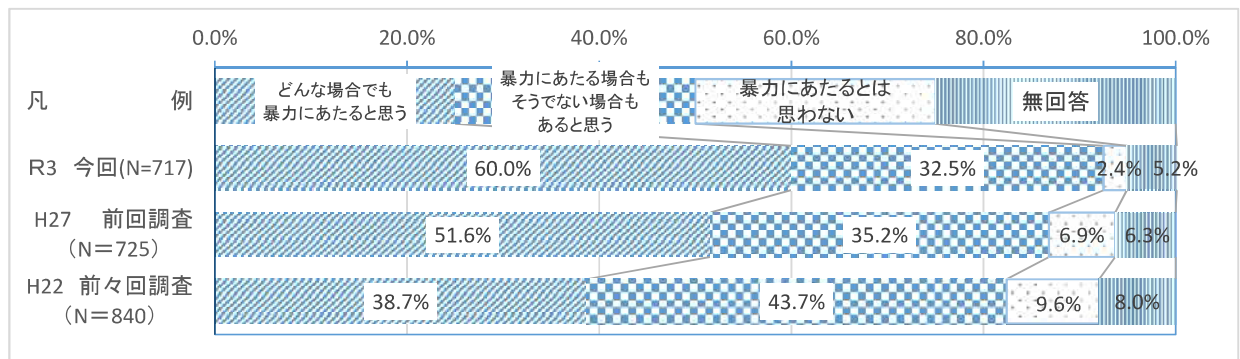
### 【他統計結果との比較】

- 令和2年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国の **96.4%**を **3.2**ポイント下回っている。

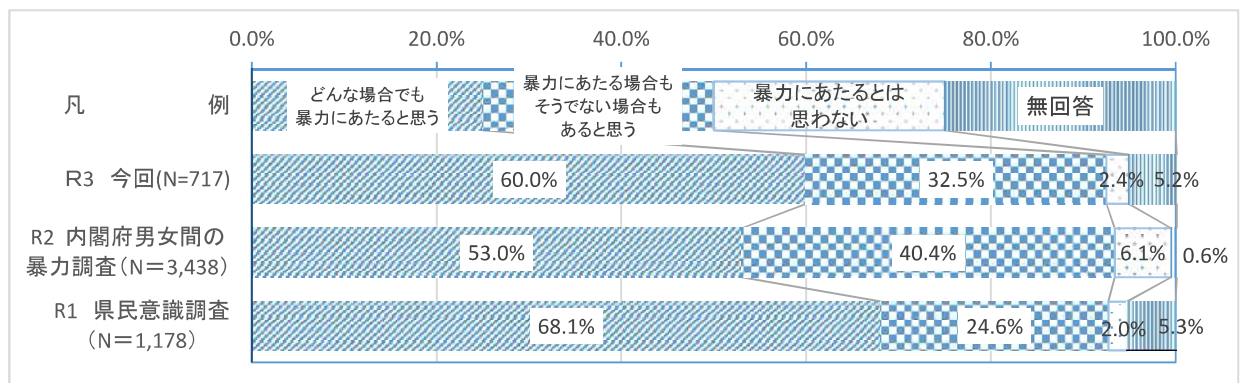
エ) 大声でどなる・暴言を吐く



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>





### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 60.0%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 2.4%となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 64.9%となっており、「男性」の 53.2%を 11.7 ポイント上回っている。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40 歳代」が 69.3%と最も高くなっており、「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「70 歳以上」が 4.5%で最も高い。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で 64.1%となっており、「既婚・事実婚」の 60.2%を 3.9 ポイント上回っている。

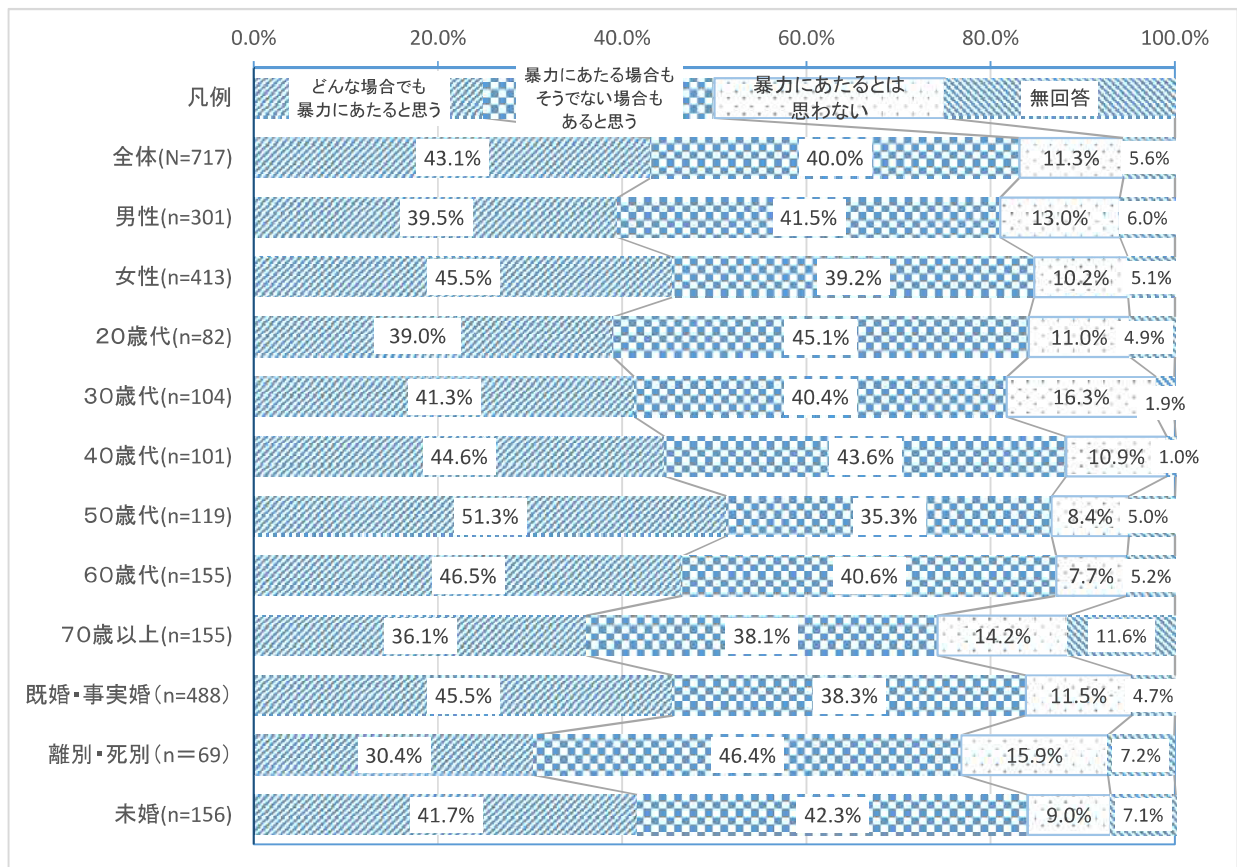
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 8.4 ポイント増、前々回比 21.3 ポイント増となっている。

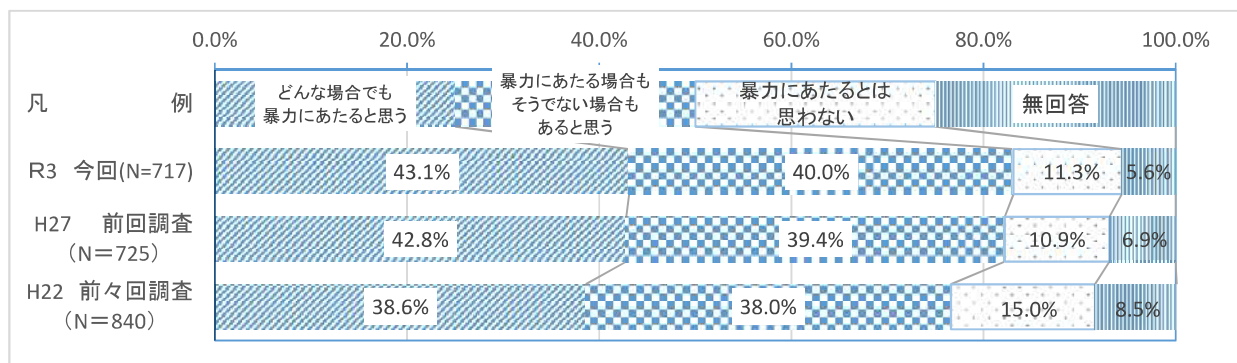
### 【他統計結果との比較】

- 令和 2 年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査および令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して 7.0 ポイント上回り、県と比較して 8.1 ポイント下回っている。

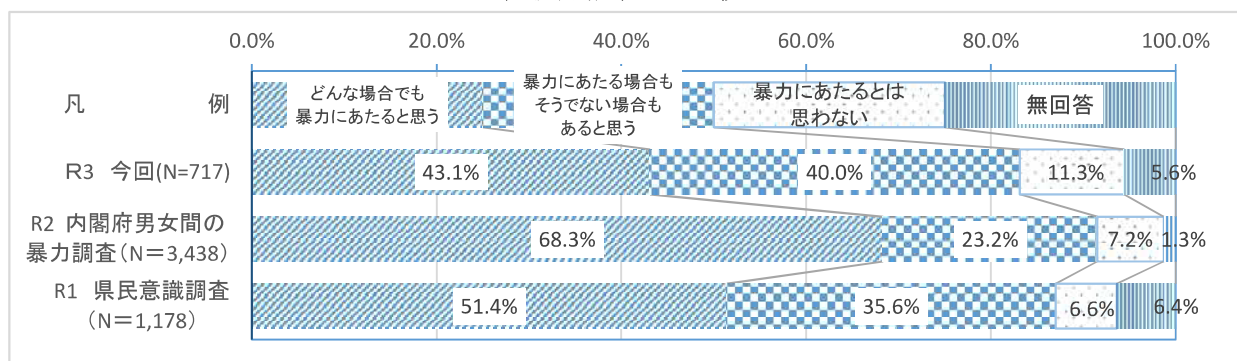
オ) 交友関係や行先、電話・メールなどを細かくチェックする



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 43.1%となっており、暴力にあたるとは思わない」は 11.3%となっている。
- 「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」が 40.0%となっており、「どんな場合でも暴力にあたると思う」と同程度となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 45.5%となっており、「男性」の 39.5%を 6.0 ポイント上回っている。
- 「男性」では、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」が「どんな場合でも暴力にあたると思う」を 2.0 ポイント上回っている。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「50 歳代」が 51.3%と最も高くなっており、「暴力にあたると思わない」と回答した人の割合は「30 歳代」が 16.3%で最も高い。
- 「20 歳代」では、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」が「どんな場合でも暴力にあたると思う」を 6.1 ポイント上回っている。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「既婚・事実婚」で 45.5%となっており、「未婚」の 41.7%を 3.8 ポイント上回っている。

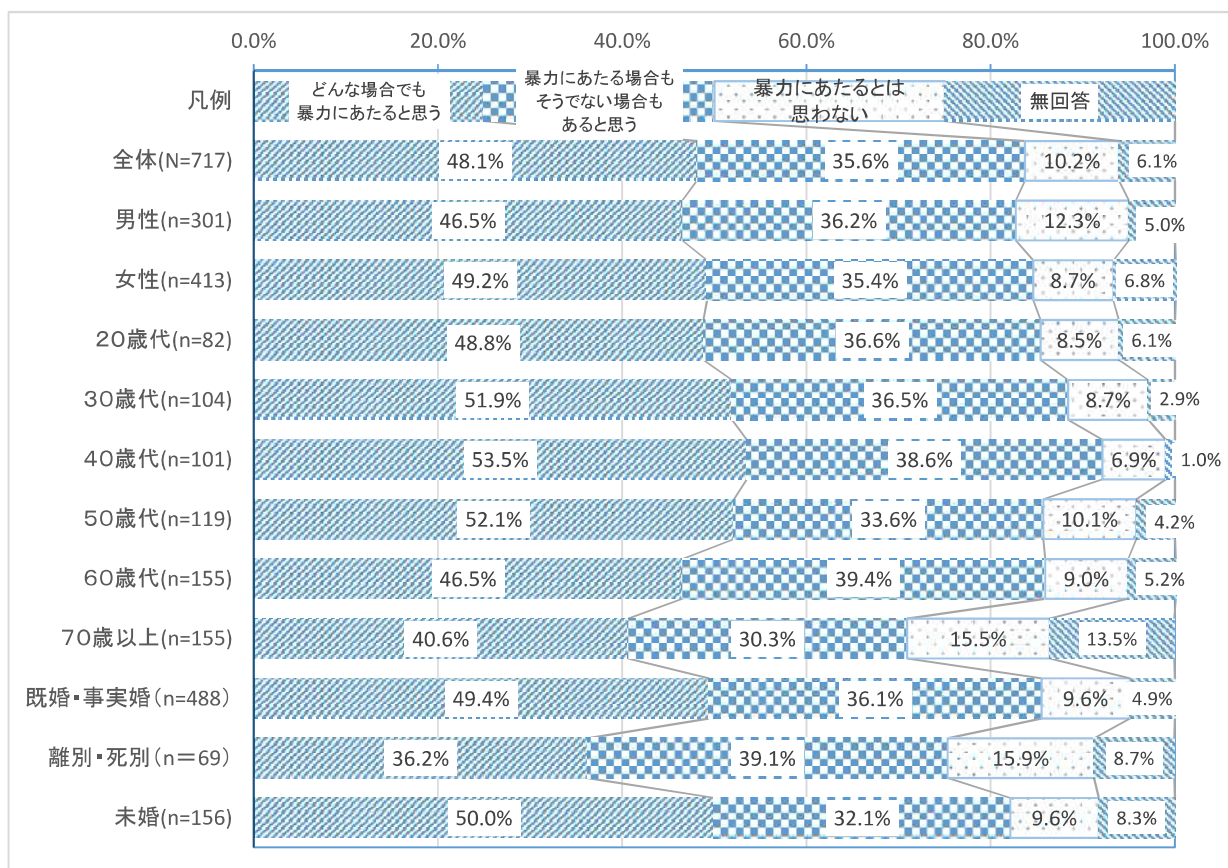
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 0.3 ポイントの微増、前々回比 4.5 ポイント増となっているものの、その伸び幅は他の項目に比べて小さい。

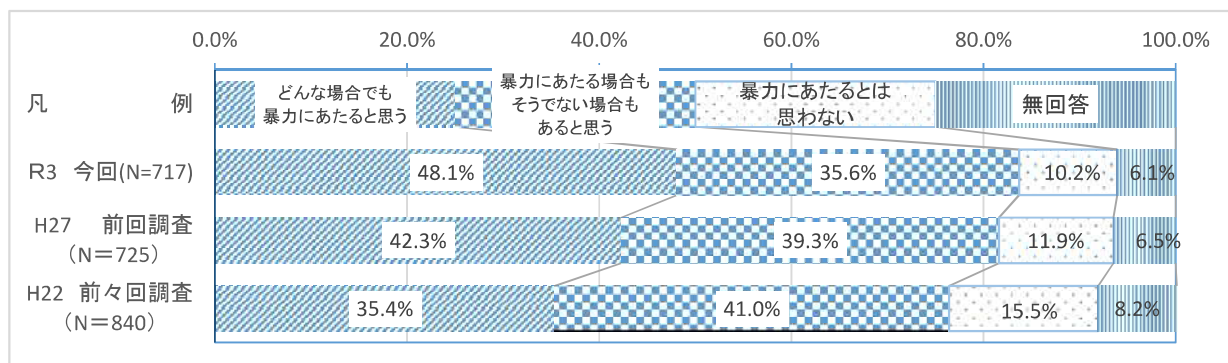
### 【他統計結果との比較】

- 令和 2 年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査および令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して 25.2 ポイント、県と比較して 8.3 ポイント下回っている。
- 「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は 11.3%で、全国と比較して 4.1 ポイント、県と比較して 4.7 ポイント上回っており、心理的な暴力に対する認識が低くなっている。

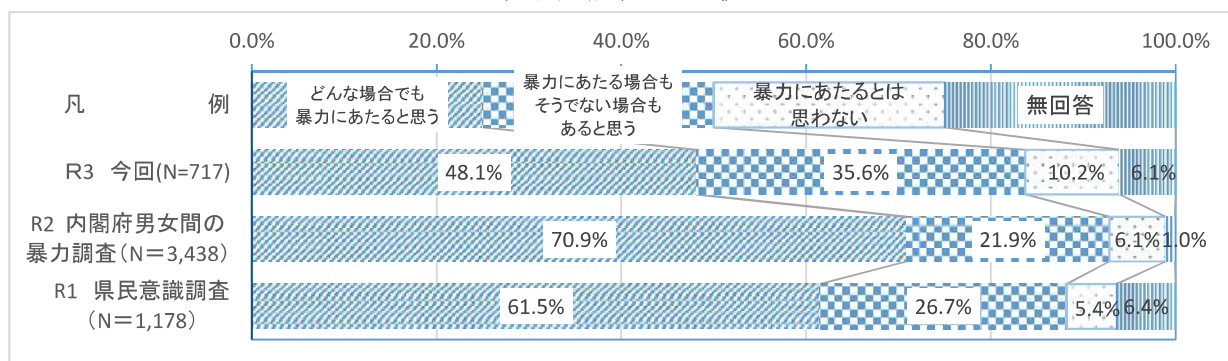
カ) 何を言っても長時間無視し続ける



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 48.1%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 10.2%となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 49.2%となっており、「男性」の 46.5%を 2.7 ポイント上回っている。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40 歳代」が 53.5%と最も高くなっており、「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「70 歳以上」が 15.5%と最も高い。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で 50.0%となっており、「既婚・事実婚」の 49.4%を 0.6 ポイント上回っている。

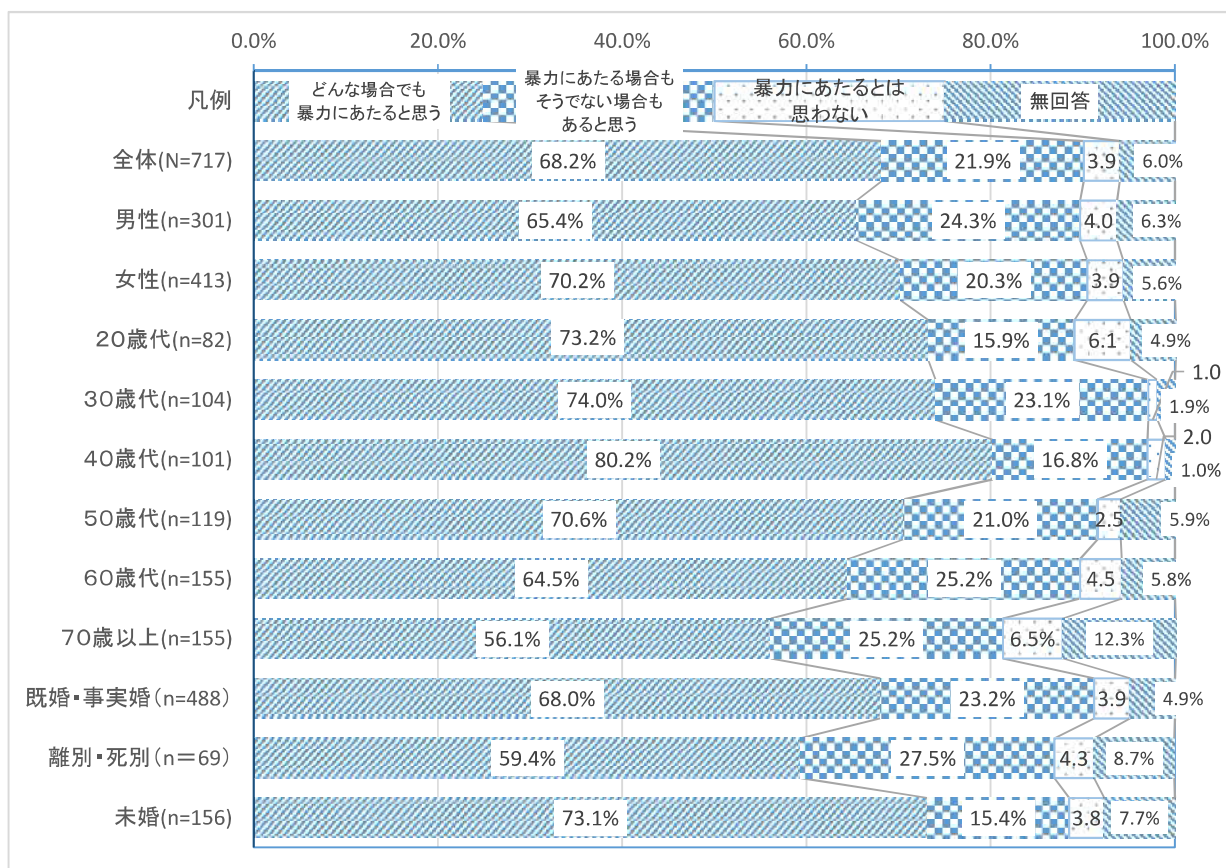
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 5.8 ポイント増、前々回比 12.7 ポイント増となっている。

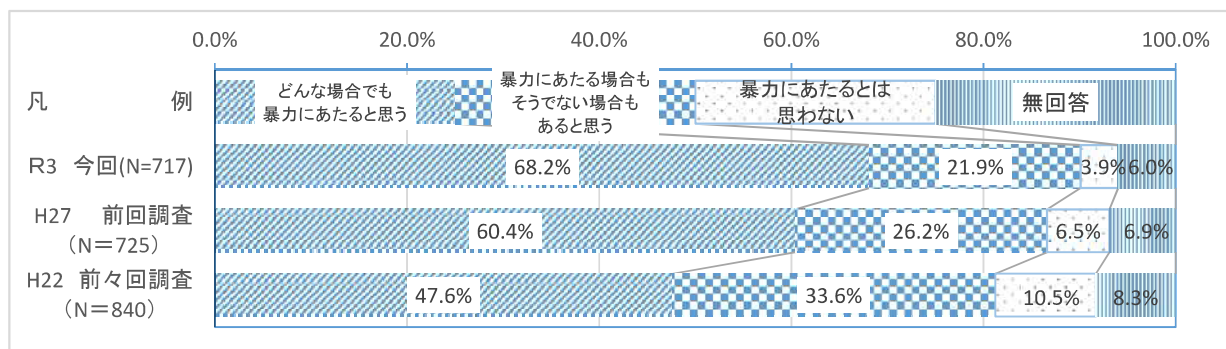
### 【他統計結果との比較】

- 令和 2 年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査および令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して 22.8 ポイント、県と比較して 13.4 ポイント下回っている。
- 「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は全国と比較して 4.1 ポイント、県と比較して 4.8 ポイント上回っており、心理的な暴力に対する認識が低くなっている。

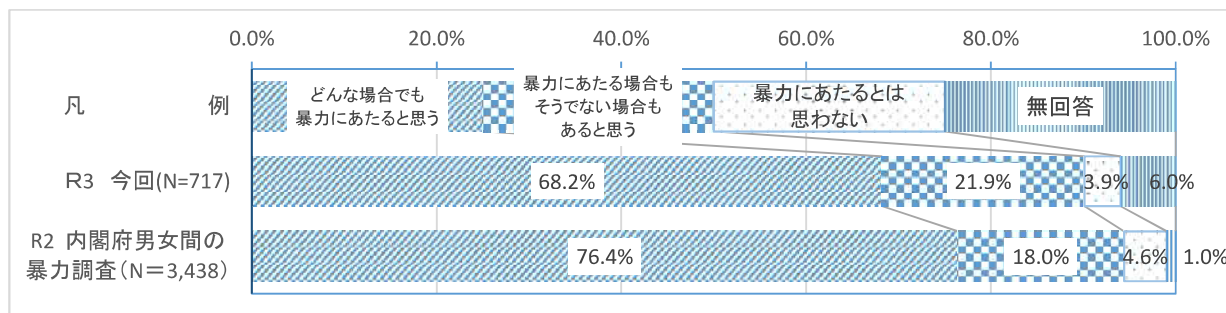
キ) 「誰のおかげで生活できているんだ」とか、「甲斐性なし」などと言う



<前回・前々回との比較>



<他統計結果との比較>



### 【全体】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 68.2%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 3.9%となっている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 70.2%となっており、「男性」の 65.4%を 4.8 ポイント上回っている。

#### <年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40 歳代」が 80.2%と最も高くなっている。
- 「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「70 歳以上」で 6.5%と最も高く、次いで「20 歳代」で 6.1%と高くなっている。

#### <結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で 73.1%となっており、「既婚・事実婚」の 68.0%を 5.1 ポイント上回っている。

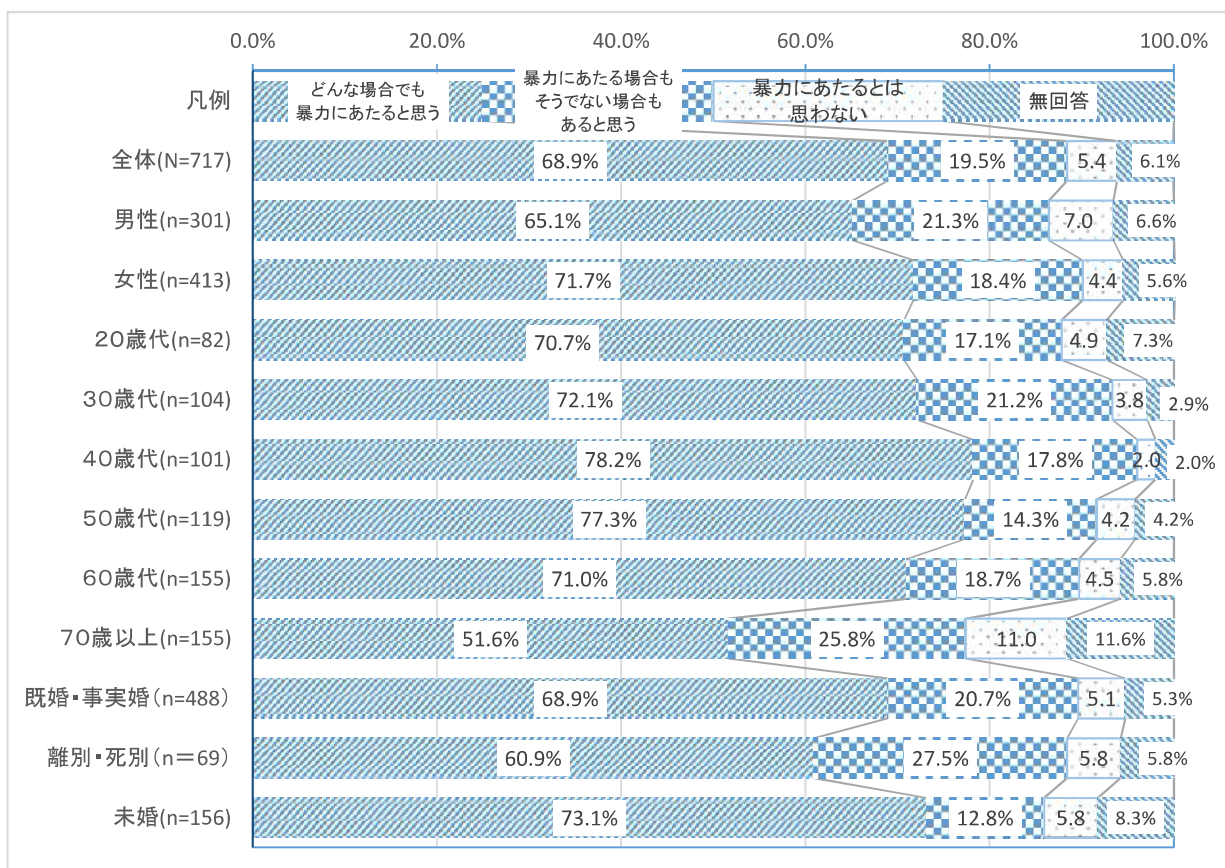
### 【前回・前々回との比較】

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は前回比 7.8 ポイント増、前々回比 20.6 ポイント増となっている。

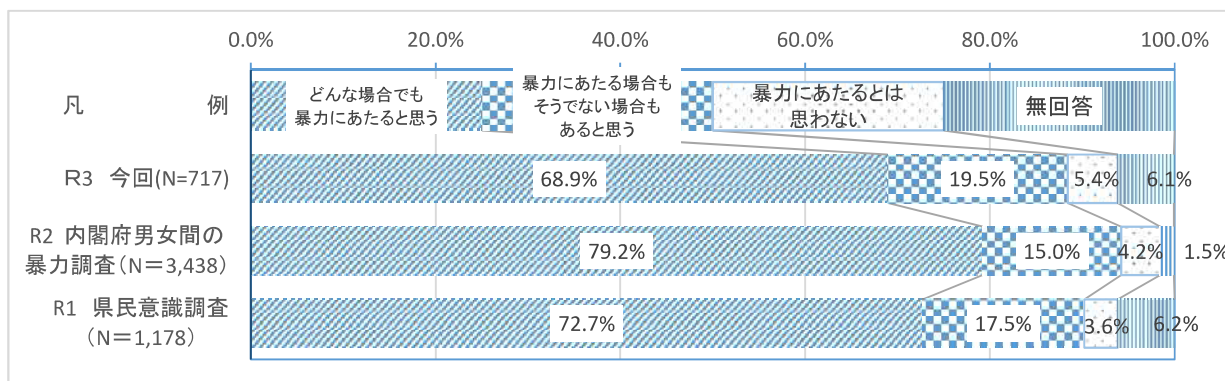
### 【他統計結果との比較】

- 令和 2 年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して 8.2 ポイント下回っている。

ク) 必要な生活費を渡さない



<他統計結果との比較>



【全体】

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 68.9%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 5.4%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 71.7%となっており、「男性」の 65.1%を 6.6 ポイント上回っている。

<年代別>



- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40歳代」が78.2%と最も高くなっている。「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「70歳以上」で11.0%と最も高く、他の年代との開きが大きくなっている。

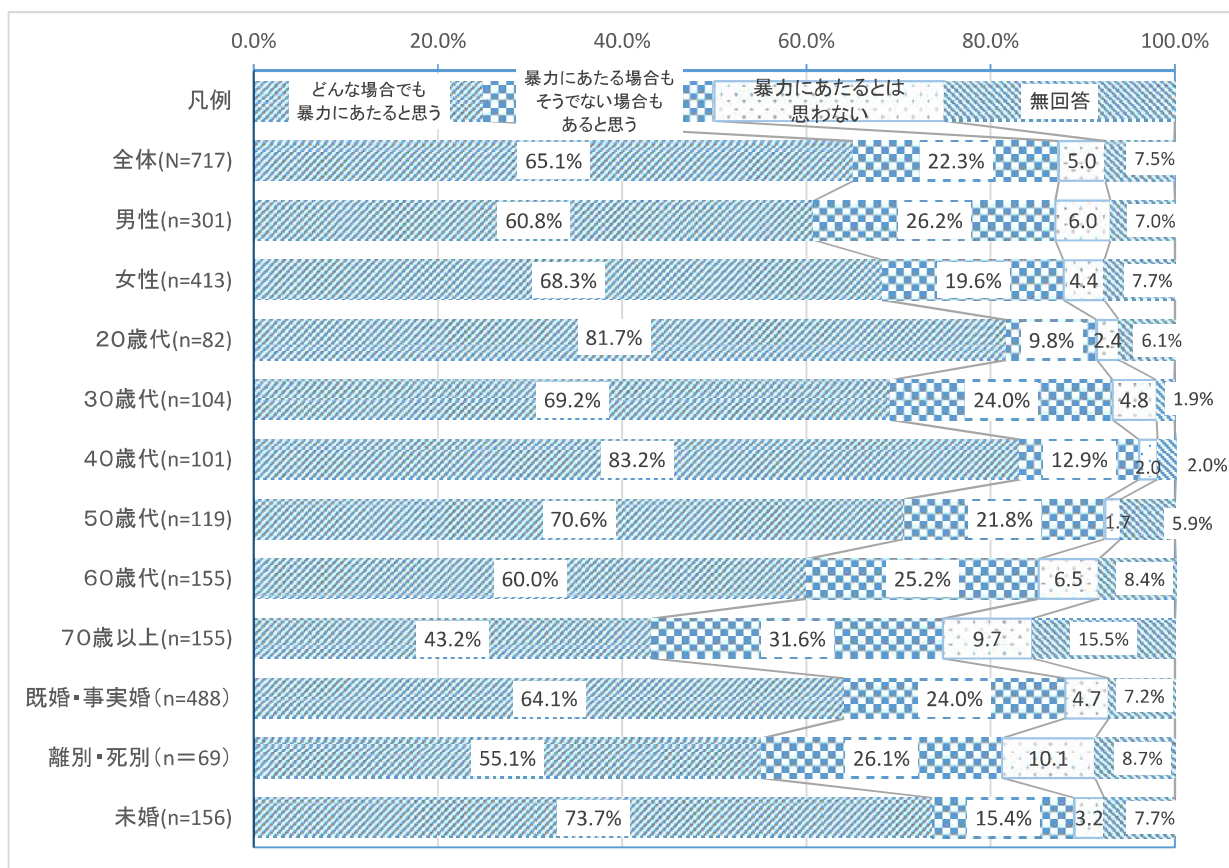
<結婚の有無>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で73.1%となっており、「既婚・事実婚」の68.9%を4.2ポイント上回っている。

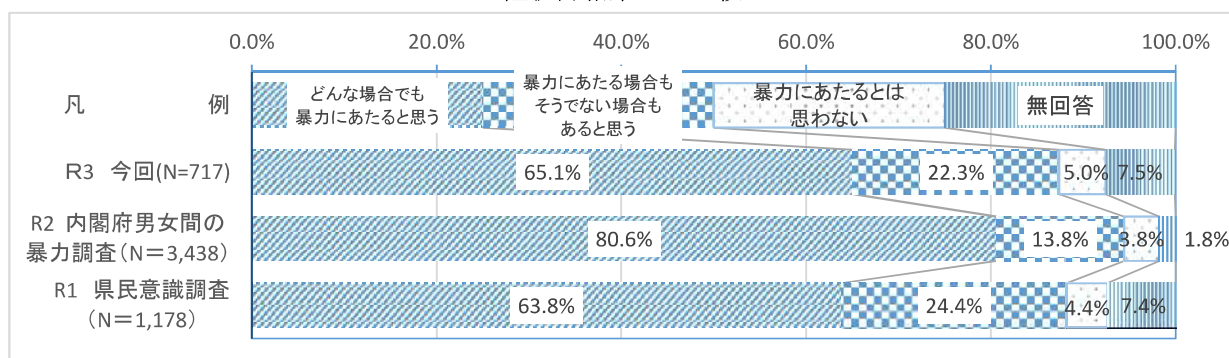
【他統計結果との比較】

- 令和2年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査および令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して10.3ポイント、県と比較して3.8ポイント下回っている。

ケ) 避妊に協力しない



<他統計結果との比較>



【全体】

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合が 65.1%となっており、「暴力にあたるとは思わない」は 5.0%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

○「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「女性」で 68.3%となっており、「男性」の 60.8%を 7.5 ポイント上回っている。

<年代別>

- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「40歳代」が83.2%、「20歳代」が81.7%で8割を超えている。
- 「暴力にあたるとは思わない」と回答した人の割合は「70歳以上」が9.7%で最も高く、「50歳代」が1.7%で最も低い。

<結婚の有無>

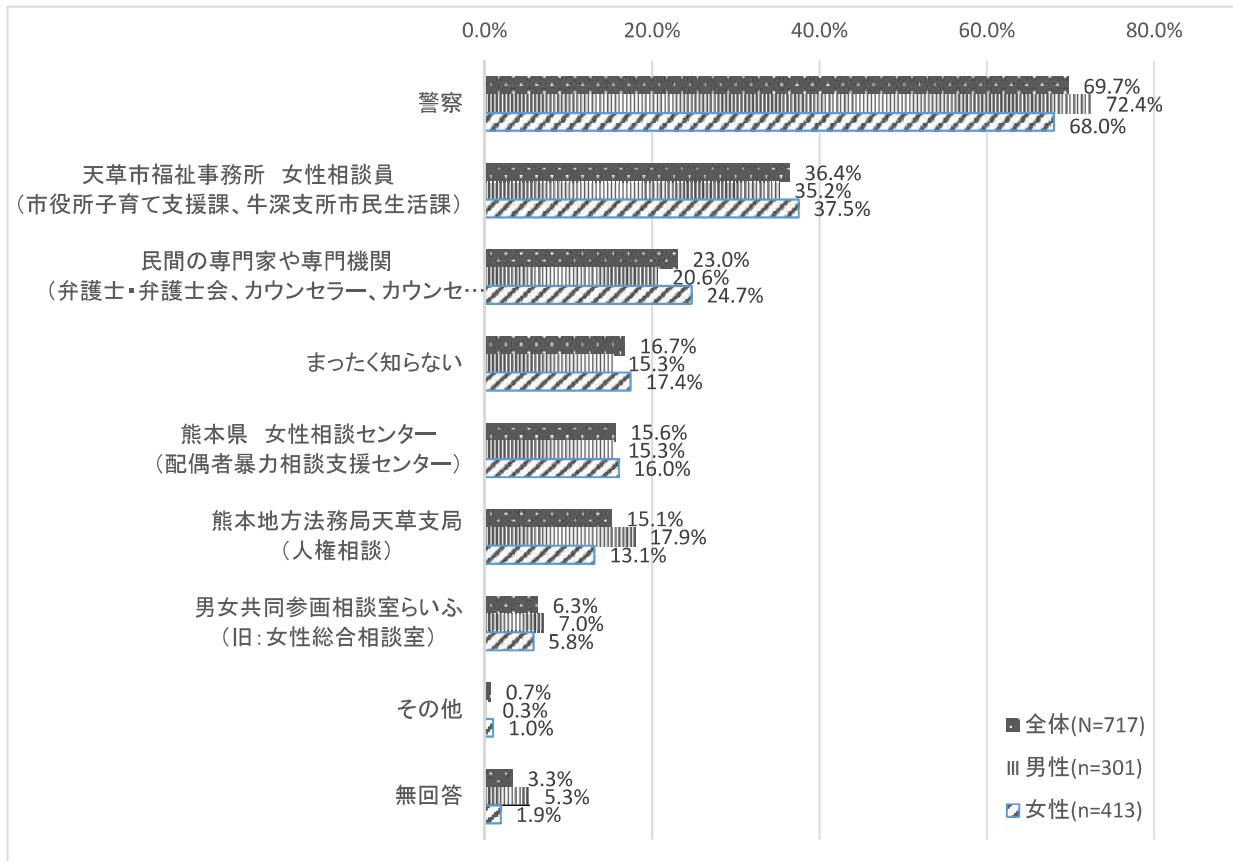
- 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は「未婚」で73.7%となっており、「既婚・事実婚」の64.1%を9.6ポイント上回っている。

【他統計結果との比較】

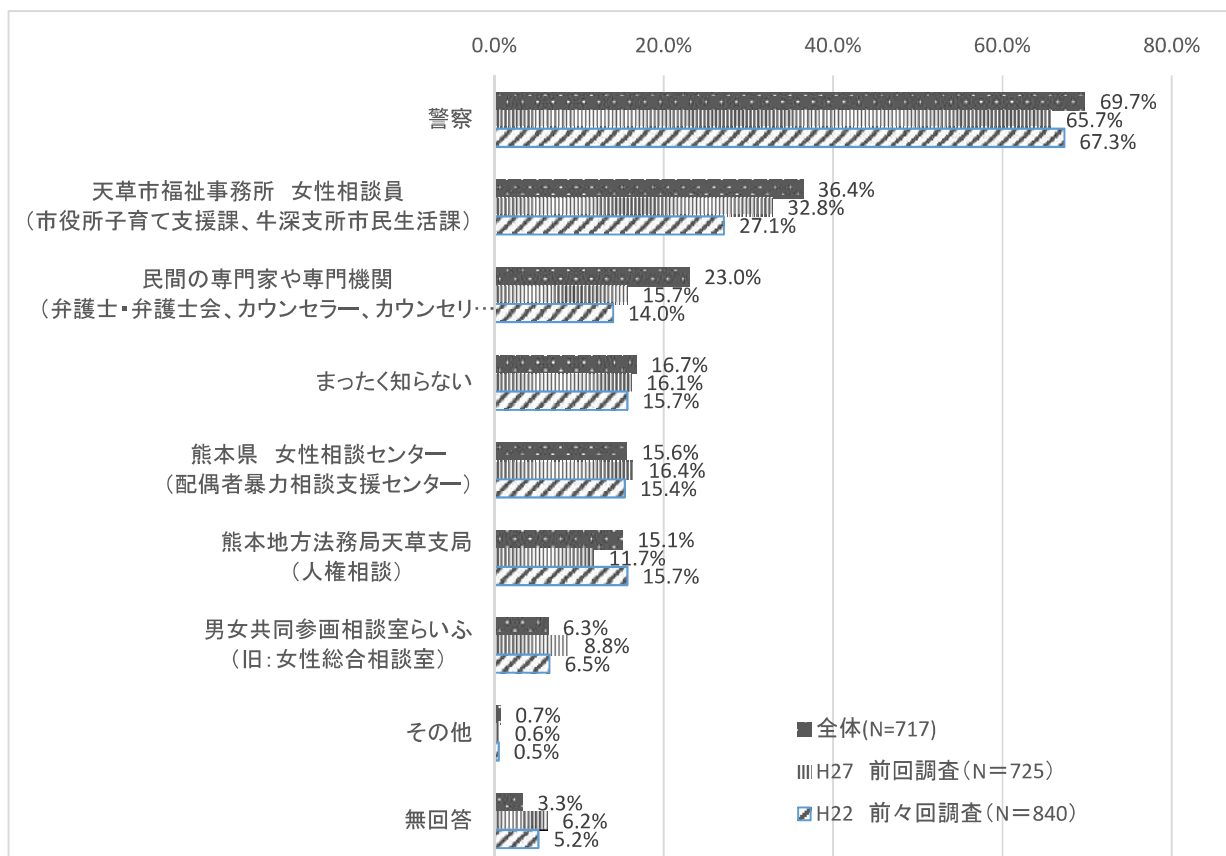
- 令和2年に実施された内閣府による男女間における暴力に関する調査および令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は全国と比較して15.5ポイント下回っている。県と比較して1.3ポイント上回っている。

## (2) DVに関する相談機関の認知状況

問19 熊本県内には、配偶者等からの暴力について相談できる窓口がありますが、あなたが知っている相談機関を教えてください。次の中から、知っている機関すべて選んで○で囲んでください。



<前回・前々回との比較>



【全体】

- 「警察」と回答した人の割合が 69.7%と最も高く、次いで「天草市福祉事務所 女性相談員」が 36.4%、「民間の専門家や専門機関」が 23.0%と続いている。
- 「まったく知らない」と回答した人の割合は 16.7%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

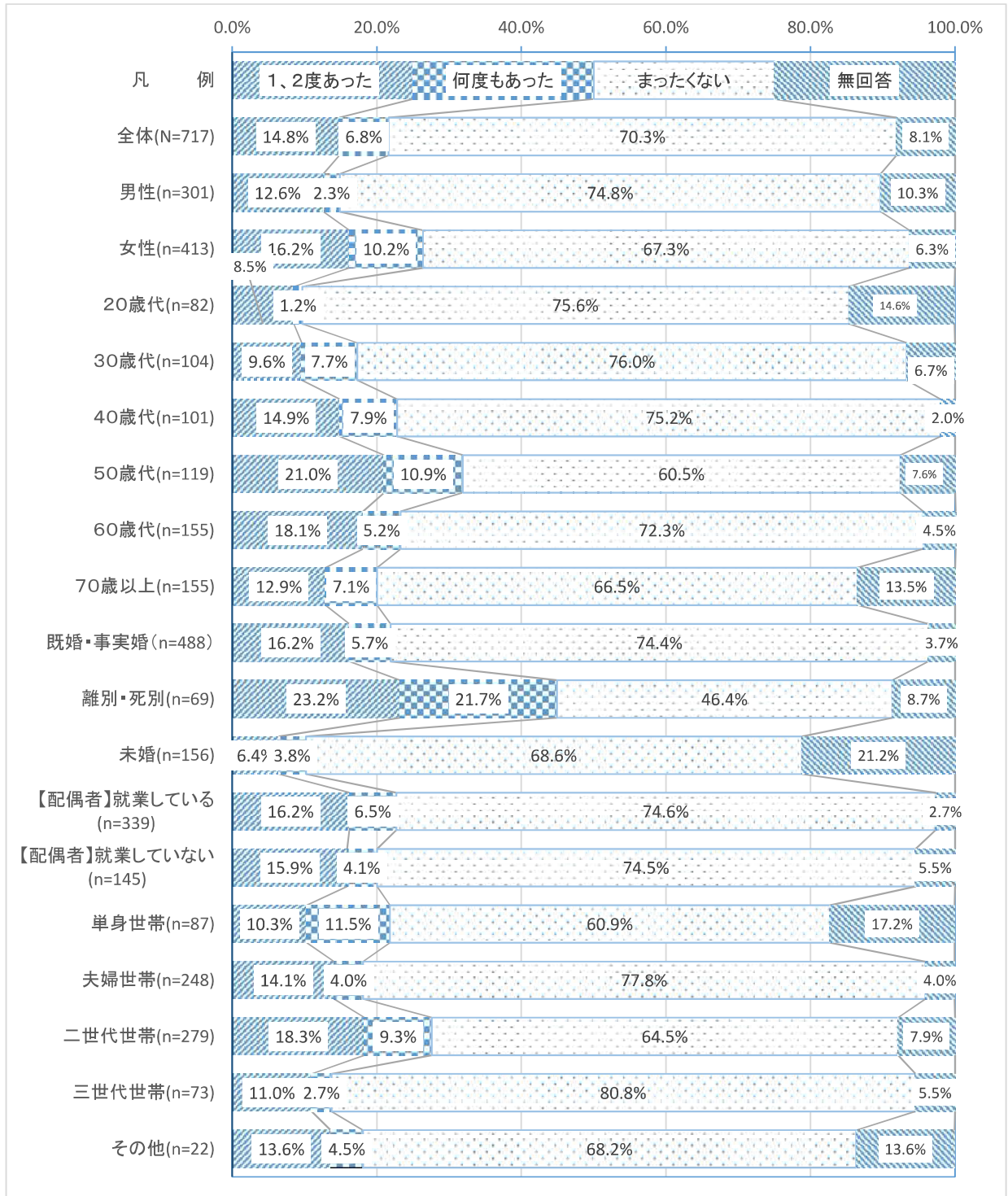
- 「熊本地方法務局天草支局」と回答した人の割合は「男性」で 17.9%となっており、「女性」の 13.1%を 4.8 ポイント上回っている。

【前回・前々回との比較】

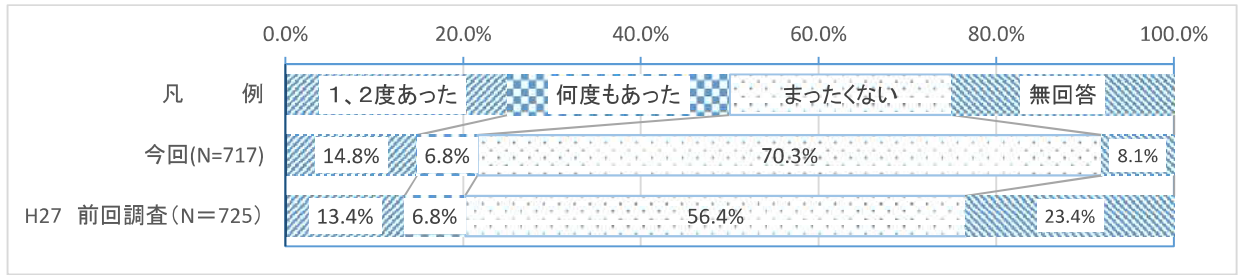
- 「天草市福祉事務所 女性相談員」、「民間の専門家や専門機関」と回答した人の割合が前回・前々回と比較して高くなっている。
- 「熊本県女性相談センター」、「男女共同参画相談室らいふ」と回答した人の割合が前回・前々回と比較して低くなっている。

### (3) DVの被害経験

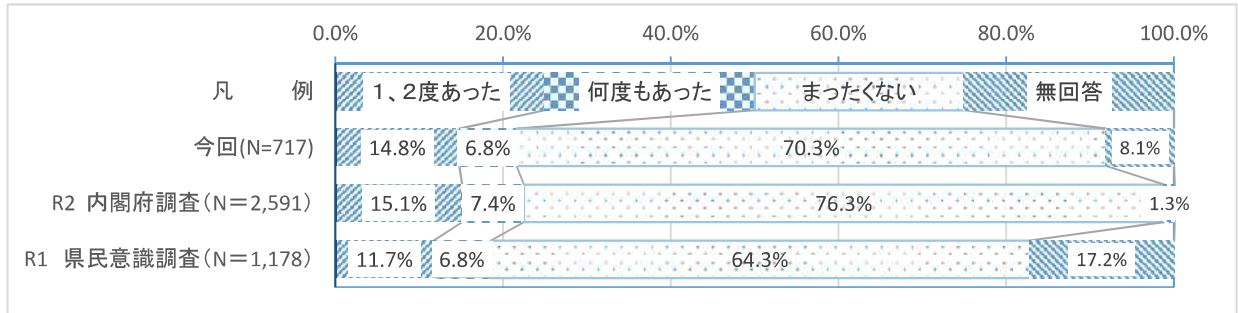
問20 あなたはこれまでに、配偶者等から下記の身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要を受けたことがありますか。次の1～3の中から1つだけ選んで○で囲んでください。



＜前回との比較＞



＜他統計結果との調査＞



【全体】

- 「まったくない」と回答した人の割合が70.3%と最も高く、「1、2度あった」が14.8%、「何度もあった」が6.8%となっている。
- 『あった』（「1、2度あった」及び「何度もあった」以下同じ）と回答した人の割合は21.6%となっている。

【階層別傾向】

＜性別＞

- 『あった』と回答した人の割合は「女性」で26.4%となっており、「男性」の14.9%を11.5ポイント上回っている。

＜年代別＞

- 『あった』と回答した人の割合は「50歳代」で31.9%となり、最も高くなっている。

＜結婚の有無＞

- 『あった』と回答した人の割合は「離別・死別」で44.9%となり、最も高くなっている。

＜配偶者の就業の有無＞

- 『あった』と回答した人の割合は「就業している」で22.7%となっており、「就業していない」の20.0%を2.7ポイント上回っている。

＜世帯状況別＞

- 『あった』と回答した人の割合は「二世帯世帯」で27.6%となっており、最も高くなっている。

【前回との比較】

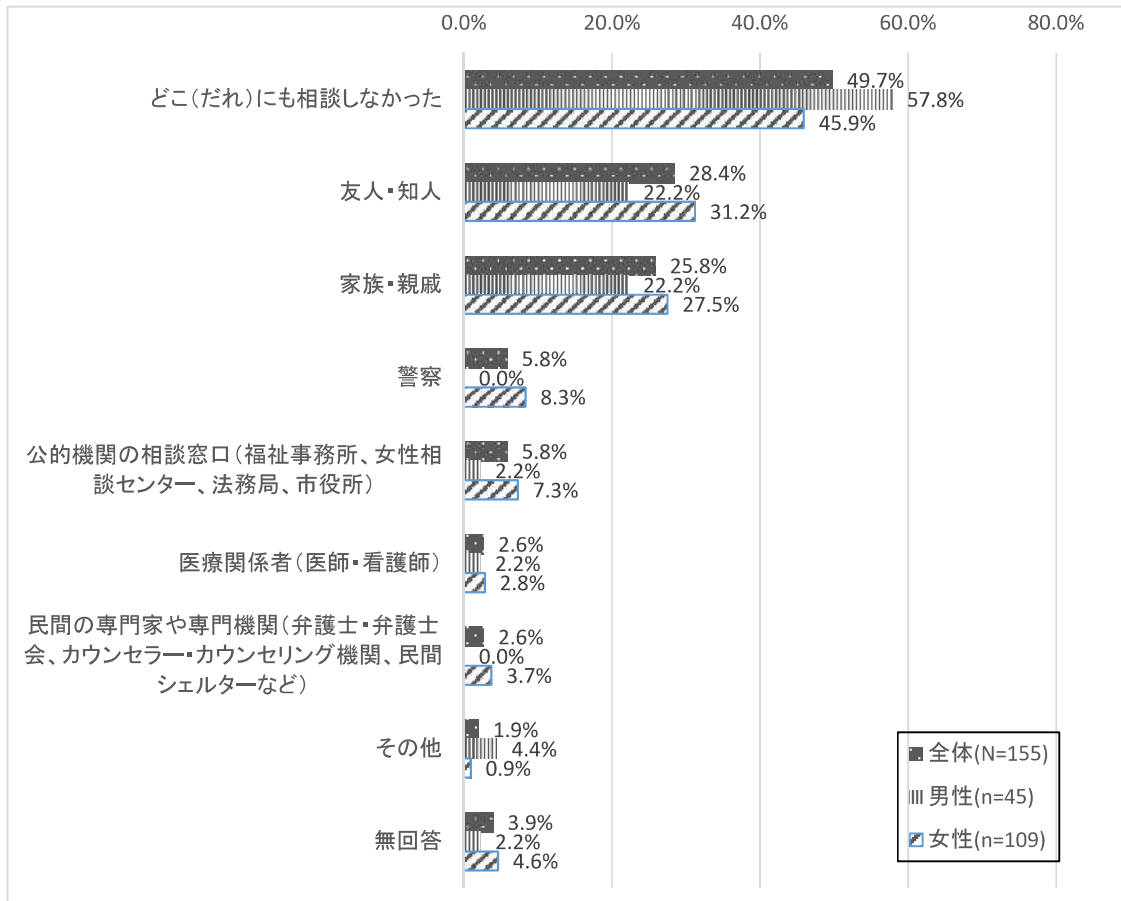
- 『あった』と回答した人の割合は21.6%となっており、前回比1.4ポイント増となっている。

【他統計結果との比較】

- 令和元年度に実施された内閣府による「男女間における暴力に関する調査」・県民意識調査との比較において、『あった』と回答した人の割合は、全国より0.9ポイント低く、県より3.1ポイント高くなっている。

#### (4) DV被害者の相談状況

問21 問20で「1、2度あった」または「何度もあった」と答えた方におたずねします。  
 そのことについて、誰かに相談しましたか。  
 次の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



##### 【全体】

- 「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した人の割合が**49.7%**と最も高く、次いで「友人・知人」が**28.4%**、「家族・親戚」が**25.8%**と続いている。
- 警察などいずれかの関係機関に相談した人の割合は**10%未満**となっており、「友人・知人」「家族・親戚」に相談するケースが大半を占めている。

##### 【階層別傾向】

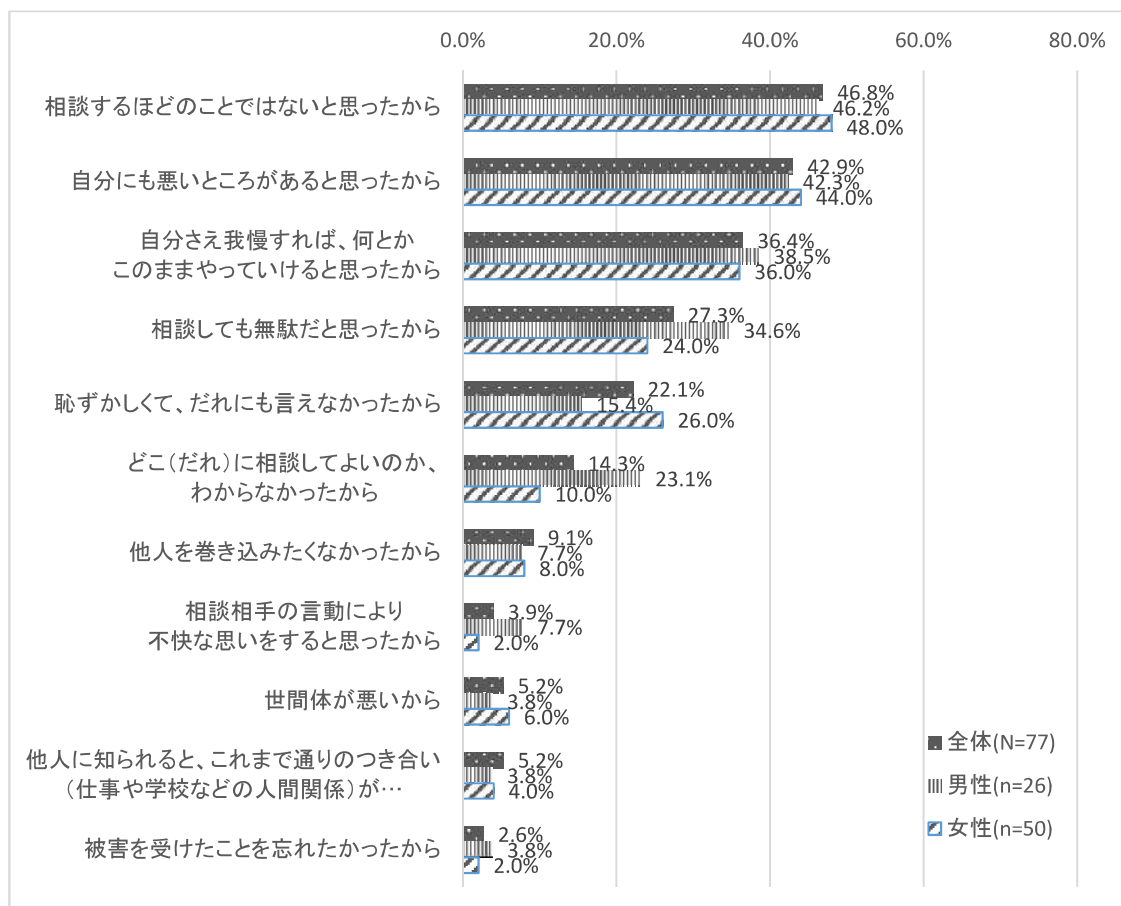
###### <性別>

- 「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した人の割合は「男性」で**57.8%**となっており、「女性」の**45.9%**を**11.9**ポイント上回っている。なお、男性に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。
- 「友人・知人」と回答した人の割合は「女性」で**31.2%**となっており、「男性」の**22.2%**を**9.0**ポイント上回っている。なお、男性に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。



## (5) 相談しなかった理由

問 2 2 問 2 1 で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。  
それは、なぜですか。次の中から選んで○で囲んでください。（いくつでも）



### 【全体】

○「相談するほどのことではないと思ったから」と回答した人の割合が 46.8%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」が 42.9%、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」が 36.4%と続いている。

### 【階層別傾向】

#### <性別>

- 「どこ（だれ）にも相談してよいのか、わからなかったから」と回答した人の割合は「男性」で 23.1%となっており、「女性」の 10.0%を 13.1 ポイント上回っている。なお、男性に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。
- 「恥ずかしくて、だれにも言えなかったから」と回答した人の割合は「女性」で 26.0%となっており、「男性」の 15.4%を 10.6 ポイント上回っている。なお、男性に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

【相談しなかった理由】

- 被害者が男だったから（1件）
- DVを受けた自分自身に問題があると思ったから（1件）
- 当時、DVを受けているという認識がなかったから（1件）
- うわさになると思ったから（1件）
- 母が暴力を受けても誰にも言わないから（1件）